

投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (主幹兼国道係長 北村 昭二)	内線	4362 (4374)
事業種目	道路事業	事業採択年度	H3	現計画	再評価時点
事業名	国道2号道路改築事業 姫路西拡幅	着工年度	H3	総事業費	148億円
		再評価年度	H12	内用地補償費	82億円
事業区間	姫路市今宿～青山			完成予定年度	H20
所在地	兵庫県姫路市			進捗率 (内用補進捗率)	83%(96%)
				残事業費	25億円
事業の目的				事業内容	
<p>・姫路市中心部を東西に横断する国道2号は、東西交通の大動脈、かつ地域の生活道路となっているが、当該区間は交通容量の不足による慢性的な交通渋滞が発生している。</p> <p>・そのため、4車線拡幅整備により必要な交通容量を確保することで渋滞の解消を図り、円滑な交通の確保、生活道路としての利便性、安全性の向上等を図る。</p>				<p>道路改築事業 L = 2,120m(橋梁2橋)</p> <p>【計画幅員】13.0(27.0)m(4車線+両側歩道)</p> <p>【現況幅員】6.0(14.0)m(2車線+両側歩道)</p> <p>【計画交通量】39,000台/日</p> <p>【現況交通量】31,150台/日(混雑度1.86)</p> <p>【負担割合】国:1/2 県:1/2</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>・H12年12月の姫路バイパス及び太子龍野バイパスの無料化前後で交通量に変化はなく、依然として混雑しており、慢性的な渋滞の解消が急務である。</p> <p>・夢前橋を通過する12時間交通量:20,473台(H12.11調査) 21,752台(H16.10調査)</p> <p>・今宿交差点付近に接続する都市計画道路山吹線がH18年度末に供用予定である。</p> <p>・大規模物件の補償交渉が難航し、用地取得がH18年度末となることから完成予定年度を1年延伸し、H20年度とする。</p> <p>・電線共同溝の増工、物件補償費の精査等により、事業費が約16億円増加した。</p>				
進捗状況	<p>・H3年度に事業着手し、H10年6月に夢前橋を含む約0.2kmを暫定供用</p> <p>・H17年4月に夢前橋西詰～下手野東交差点間の約1.0kmを4車線(完成)供用</p> <p>・城見橋(JR跨線橋)は、H19年度完成に向けて(株)JR西日本に委託している。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 渋滞の解消 安全・安心の確保 地域の活性化	<p>・夢前橋の供用によって夢前橋西詰交差点の渋滞は緩和されたが、3万台/日を越える交通量のために2車線部分は依然として渋滞しており、残区間の完成を図り、円滑な交通を確保する必要がある。【渋滞交差点解消プログラム:夢前橋西詰交差点、今宿交差点】</p> <p>・緊急輸送道路に位置付けられており、防災面での必要性も高い。</p> <p>・自転車歩行者道の整備により、歩行者や自転車の安全を確保することができる。</p> <p>・当該区間は姫路市中心部の西端に位置し、広域的な交通と併せて生活道路の役割も担っているため、利便性の向上により産業、生活両面の活性化に寄与する。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>・都市計画決定されているルートである。</p> <p>・H18年度までに用地買収を完了する予定であり、H20年度完成に向けた円滑な事業執行が可能である。</p> <p>・費用便益比B/C = 3.0</p>				
(3)環境適合性	<p>・交通渋滞を解消することで、沿道の生活環境が改善される。</p> <p>・植樹帯を設け緑化に努めるとともに、車道部に低騒音舗装、歩道部に透水性舗装を施工して、環境への影響を最小限とする。</p> <p>・無電柱化計画に基づいて電線共同溝を整備し、都市の景観に配慮する。</p>				
(4)優先性	<p>・当事業により姫路市西部地域の渋滞解消が図られることから、早期完成が望まれる。</p>				
再々評価 の結果	継続	左の理由	<p>・事業の必要性は事業採択当時と何ら変わっておらず、事業完了の見込みも立っていることから、継続して事業を実施する必要がある。</p>		